

第7回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成21年10月15日（木） 午後6時30分～午後8時45分
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、半田副会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、
新藤委員、高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員
奥川係長代理、小川主任

（委員11名、市2名）

【概要】

1. テーマの検討について

- ・まちづくり市民会議で検討するテーマを決定するため、各委員が改めて希望するテーマを発表した。
- ・発表されたテーマは次のとおり。
 - ①観光ボランティアガイドの一元化、市の受付窓口の明確化
…観光ボランティアを一元化し、ボランティアの受付窓口が分かり難いため明確化する。その他、複数ある観光パンフレットの統合などを検討する。
 - ②太田らしさの発信、PR活動
…期間を決めて観光客に是非見てもらいたいイベントなどを開催し、太田市らしさを発信する。
 - ③おもてなしの心を培う、八木節、かかし祭り、交通機関、駐車場整備
…観光客に親切な心（おもてなしの心）をどのように伝えるか検討する。太田市らしさが全国的に通じる八木節、やぶ塚かかし祭り、その他、交通網の整備や交通手段、駐車場などの事項を検討する。
 - ④長期的なスパンで考える、まちづくりと観光は切り離せない、既存のものではなく新しく創り出す、緑豊かなまち
…政権交代により駐車場整備など経費が必要になる提言は難しくなっている。市民と行政が協力や連携して一定の目的を達成する場合、長い時間を要する。まちづくりは観光とオーバーラップする（重なり合う）。太田市は緑が多いようで実際は少ない。太田市が自然豊かな「緑の都市」であったら宣伝になる。緑化はCO₂削減と一致する問題であり、一朝一夕でできることではない。
 - ⑤市民が春夏秋冬を感じられるようなイベント、祭、音が出るイベント、様々な世代に参加してもらう
…歴史があって住民がある。住民のパワーを集めることが重要であり、様々な世代の意見を聴いて取り上げたい。
 - ⑥既存のイベントを盛り上げる
…尾島ねぶたまつりや太田市花火大会など、既存のイベントに考慮して提言を考える。
 - ⑦観光資源の発掘・開発
…観光資源の発掘や開発を検討する。
 - ⑧平成23年7～9月のDESTINATIONキャンペーンで太田市ができること
…群馬県でDESTINATIONキャンペーンが開催される機会を捉えて、まちづくり市民会議で提案できることを検討する。

⑨市としての観光振興計画

…太田市に観光振興計画が策定されていないため、まちづくり市民会議で計画内容を検討する。

- ・以上出されたテーマから「観光資源の発掘・開発」に「創造」の言葉をつけ、まちづくり市民会議で議論するテーマは『観光資源の発掘・開発・創造』とする。
- ・既存の観光資源では観光振興につなげることは難しいため、あらたに創り出すことが必要である。
- ・テーマは定めたが、コンセプト（骨格となる概念）やキーワード、カテゴリーを設けた方がよい。
- ・各委員から提案があったキーワードとカテゴリーは次のとおり。

●キーワード

- ①イベント
- ②市民参加
- ③メディア
- ④＜経済効果＞
- ⑤環境（緑・水・エネルギー）
- ⑥産業遺産
- ⑦まちづくり（景観）

●カテゴリー

- ①文化遺産
- ②お祭り
- ③産業（商・工・農・お土産）
- ④食文化
- ⑤歴史

- ・また、テーマを決定する中で各委員から出された主な意見は次のとおり。
- ・長期的なテーマと短期的なテーマの2分科会で議論するのはどうか（テーマが決定し必要があれば分科会を設ける）。
- ・社会が急激に変化している中で、長期的なテーマで提言するのは難しい。
- ・既存のイベントを儀礼的に行うだけでは観光振興につながらない。
- ・メディア受けをするイベントが必要であり、また若い人がまちを歩くようになれば観光振興につながる。
- ・従来のイベントをリニューアルして、メディア受けするイベントを開催することが重要である。
- ・経済効果が無ければ、観光を振興する意味がない（経済効果は必ず付いてまわるものである）。

2. その他

- ・キーワードとカテゴリーは、次回の会議で引き続き検討する。

【次回の会議】

日時 11月19日（木） 午後6時30分～

場所 太田市役所10階 政策推進会議室